

特命助成

「ぱちんこ依存問題に関する相談および回復支援」事業

娯楽・遊技への過度ののめり込みに 関する相談・啓発・予防事業を実施

娯楽の個人・社会に対する価値は高いが、一方で過度ののめり込みなどの負の問題が生じる危険性がある。娯楽の負の影響を最小化し、個人・社会にとって安全な社会資源となるように依存問題の対策を通して、遊技参加者、事業者、社会への啓発や対策などの活動に取り組んでいるのがリカバリーサポート・ネットワークである。

パチンコは、
適度に楽しむ
遊びです。

パチンコパチスロ依存は、
誰にでも起こりうる問題です。
ひとりでも悩まず、
お電話ください。

もし、ひとつも当てはまるなら、
あなたの遊技は、もう“過度”を
超えてしまっているかもしれません。

- パチンコをするためにウツをついた
- 使つてはけないお金を、使ってしまった
- 負けを繰り返そうとして、
途中で止められなくなった
- やり始めると、時間や金額が
分からなくなってしまう
- パチンコをするために、お金を借りた
- パチンコが原因で、大切な人と
ケンカになった

相談窓口
050-3541-6420
月～金(土日祝日除く)10:00～22:00(受付は21:30まで)

ホームページ
<http://rsn-sakura.jp/>

ぱちんこ依存問題相談機関
認定特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク

リカバリーサポート・ネットワークは、ぱちんこ依存問題からの回復を支援する非営利相談機関です。電話による無料相談を行っています。相談は匿名でお受けしています。当団体の活動は、パチンコ・パチスロ産業21世紀会の支援、会費、寄付によって支えられています。

※パチンコ・パチスロ産業21世紀会(加盟14団体)
全日本遊技事業協同組合連合会、一般社団法人日本遊技法事業協会、日本遊技機工業組合、日本電動式遊技機工業協同組合、
全日本遊技事業協同組合連合会、同業式遊技機協同組合、一般社団法人遊技機自動サービス機工業会、
遊技機自動補給装置工業組合、遊技機自動補給装置工業会、一般社団法人日本遊技機産業経営者協会、
一般社団法人遊技機産業経営者協会、一般社団法人パチンコ・パチスロ・チェーンストア協会、一般社団法人電子遊技システム協議会、
一般社団法人アパレルシステム協会

パチンコホール店に貼り付けを依頼している啓発・告知用ポスター

電話相談や広報・啓発などを通じて 過度ののめり込みを防止する活動

認定NPO法人「リカバリーサポート・ネットワーク(以下RSN)」は、2006年に全日本遊技事業協同組合連合会の支援によって発足した団体である。RSNでは遊技業界ならびに民間や公的機関、研究・医療機関などと連携・協力しながら、パチンコやパチスロなどの娯楽・遊技の利用者とそれに関係する人々に対し、娯楽・遊技への過度ののめり込みに関する相談、啓発、予防などの事業を行っている。これらの諸問題によって生じている健康および社会的損失を防止し、広く社会全体の利益に寄与することを目的に活動している。

RSNでは、AJOSCからの助成を受け、年間を通して電

話相談事業、広報・啓発事業(ニューズレター発行、啓発ポスター、自己診断アプリなど)、支援・連携活動事業(公的研究への協力、回復施設などとの連携・協力)、企画開催(セミナー、講演会などの企画開催)、研修活動事業(相談技能などの研修)、資料作成・企画／出版事業などの活動に従事している。

電話相談事業では、より早期に問題を持った人たちに介入できるような取り組みを続けており、遊技産業からの出向者、遊技産業での勤務経験を持つスタッフがトレーニングを受けて、相談対応を担うまでになってきた。それにより、電話相談の対応件数の増加だけでなく、相談者の幅広い内容に対応できるようになってきたという。また、遊技業界と協働して様々な依存問題対策を立案し、「安心パチン

コ・パチスロードバイザー制度」の創設と配置を進めた。さらにギャンブル等依存症対策基本法の審議において、活動で得られた知見をもとに、RSNの西村直之代表理事が参考人として国会で意見を述べ、法案審議に寄与した。

依存問題の理解に資する報告書の 公表・配布で海外からも評価

遊技に対する社会の持つ負のイメージ、パチンコやパチスロののめり込みに対する誤解や偏見、事業者の問題意識の低さと理解不足などによって、世界的に標準となっている依存問題に対する理解が日本ではまだまだ進んでおらず、その対策のための人材確保、活動資金の確保といった課題が山積している。そうした状況を一步步改善しようと、RSNでは電話相談のデータを1年間ごとにまとめて分析し、その結果を報告書として作成し、ホームページからのPDF版配布、電子書籍などで配布している(いずれも無償)。

また、他分野の学術研究者とともにRSNのデータ解析結果を学術誌などで報告しているほか、遊技産業の研修

講演、視察などに活用し、その成果を遊技産業内外に広く伝えている。こうした活動や報告書の内容は海外の研究者からも高く評価されており、西村代表理事がギャンブル関連の国際学会において、その活動の一端を報告する予定になっている。

「電話相談を含め、RSNの活動はすべて助成金、寄付によって賄われている。遊技に関連する負の問題は、時代や社会的状況の影響を受けやすい。医療や既存の精神保健福祉サービスの対策システムの未整備や、そもそもの対応可能領域の問題から、時代や状況に合わせ、柔軟かつ迅速に新たに必要な対策を講じ、実施していくうえで、AJOSCの助成は大変役立っている」と、西村代表理事は話す。

ぱちんこ依存問題相談機関
リカバリーサポート・ネットワーク
050-3541-6420
月～金(土日祝日除く)10:00～22:00 相談無料
※受付は21:30まで。



視察をする兵庫県遊技業協同組合・遊協青年部会



広島県遊技業協同組合・廿日市遊技業防犯協力会の視察の様子

助成団体:認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク <http://rsn-sakura.jp>



この助成で良質な社会資源が生まれ、育つことを願っています

未来のために民間でしかできない必要な非営利活動はたくさんありますが、意欲や能力があっても、非営利活動とそのチャレンジを担う人に対する支援の文化が脆弱な日本においては、活動が育たず、消えてしまうプロジェクトが数多くあります。貴団体の助成は、これからの未来を支える社会資源を育成するために大変重要な役割を果たしていると思っています。

認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク
代表理事 西村直之さん